



連合平和行動 in 長崎

核なき世界と恒久平和を誓う



平和ナガサキ集會に全国から1,115人が結集した(8月8日)

連合は、8月8日、長崎市の長崎県立総合体育館で「連合 2022 平和ナガサキ集會」を開催し、全国から1,115人(うち、JR九州労組30人)が参加した。ロシアによるウクライナ侵攻でプーチン大統領が核兵器使用を示唆するなど、世界的に緊張が高まっているが、平和を願うすべての仲間の力を総結集し、核なき世界と恒久平和を実現していくことを誓い合った。

また、翌9日には原爆救援列車が運行された場所や原爆資料館の見学、連合「ピースウォーク」にも参加し、充実した行動となった。

連合・清水事務局長「日本は核兵器禁止条約に批准を」

集會は参加者全員による黙とうで始まり、主催者を代表して連合の清水秀行事務局長が挨拶に立った。長崎に投下された原子爆弾で7万人もの尊い人命が奪われたことを念頭に、「日本は核兵器禁止条約の批准とNPT再検討會議の議論をリードすることを両輪として、核兵器廃絶にむけた取り組みを進めるべき」と訴えた。

「ピースウォーク」で連合長崎女性・青年委員会が一役

翌9日に行われた「ピースウォーク」は、JR連合から5人(うち、JR九州労組2人)が参加した。ピースウォークでは、連合長崎女性委員会及び青年委員会の役員が案内役となり、全国からの参加者を案内するなど、被爆体験の継承に一役買っている。

ピースウォークの参加者からは「案内いただいた皆さんは暑い中でしたが、本当にお疲れ様でした。説明も非常にわかりやすく、勉強になりました」と感謝の声も聞かれた。連合長崎の皆様、お世話になりました。



爆心地公園で説明を受ける(8月9日)

知ってますか？

「原爆救援列車運行の地」



上の写真は長崎本線浦上～現川・西浦上駅間の西町踏切横にある「原爆救援列車運行の地」です。長崎には11時2分に原爆が投下されましたが、正午過ぎには長与駅を救援列車が出発し、この地まで運行したとされています。当日は4本の救援列車が約3,500人の負傷者を諫早・大村・川棚などの病院に搬送したそうです。看板は二度と惨禍が繰り返されないことを願って、設置されたものです。